

# ニッペ水性ホワイトシーラー

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

## 概要

ニッペ水性ホワイトシーラー・ニッペ水性透明シーラーは、アクリル樹脂エマルションを使用した内外部に使用できる水系の下塗り塗料です。

ニッペ水性ホワイトシーラーは白色タイプで、淡彩色(\*)までの調色が可能です。

ニッペ水性透明シーラーは透明タイプで、用途に応じて使いわけることができます。

ニッペ水性透明シーラーは、低VOC形水系のシーラーです。(TVOC 0.2%以下)

(\*)日塗工色見本帳の明度80程度までの調色が可能ですが(近似色)。詳細については、最寄の営業所までご連絡ください。  
例)22-80C 日塗工色番号では下線の数値が明度を示しています。

## 特長

- 新設内外部に使用する水系のシーラーです。
- 素材の吸い込みをよくおさえます。
- 水系であり取り扱いやすく安全です。
- 作業性に優れています。

JIS K 5663  
合成樹脂エマルションシーラーJIS A 6909 建築用仕上塗材  
外装薄塗材E/Si、複層塗材E/RE/Si下塗材

## 性能

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
低温安定性	-5°Cに冷やしたとき変質してはならない。	合格
低温造膜性	5°Cで塗膜形成に異常があつてはならない。	合格
塗装作業性	はけ塗りに支障があつてはならない。	合格
乾燥時間(表面乾燥性)	2時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があつてはならない。	合格
耐水性	水に96時間浸漬したとき異常があつてはならない。	合格
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に、48時間浸漬で異常ないこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性*	ひび割れがないこと。	合格
付着強さ*	標準状態 0.5以上	合格
N/mm <sup>2</sup> 浸水後	0.3以上	合格
温冷繰り返し*	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
耐衝撃性*	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
透水性B法*	0.5以下	合格

\*JIS A 6909 建築用仕上塗材 外装薄塗材 E の下塗り材として使用の場合。

## 用途

ニッペ水性ホワイトシーラー・ニッペ水性透明シーラーは、コンクリート、モルタルなどに用いる内外部両用の下塗り材で、エマルション塗料、リシン、吹付タイルなどの下塗りに使用します。

## 種類と容量

容量：ニッペ水性ホワイトシーラー … 15kg 色相：ニッペ水性ホワイトシーラー … 白(淡彩各色の調色可能)  
ニッペ水性透明シーラー … 15kg ニッペ水性透明シーラー … 透明



# ニッペ水性ホワイトシーラー

## 使用方法

### ニッペ水性ホワイトシーラー・ニッペ水性透明シーラー

混 合：使用前に十分かくはんしてください。

希釀剤：水道水

塗装方法	ニッペ水性ホワイトシーラー	ニッペ水性透明シーラー
希釀率	5~15%	100%
使用量	0.08~0.11kg/m <sup>2</sup> /回	0.04~0.05kg/m <sup>2</sup> /回 <small>(注)</small>

(注) 公共建築工事標準仕様の仕上げ塗材の下塗材としてご使用の場合には使用量が異なります。公共建築工事標準仕様に準拠した施工を実施する場合、公共建築工事標準仕様で規定された所要量にてご使用願います。

\* 使用量は標準的数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件・施工条件・希釀率および測定機器・測定方法により増減します。

乾燥時間：	5~10°C	23°C	30°C
塗り重ね乾燥	6時間以上	2時間以上	1時間30分以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 使用上の注意（詳細な内容については、製品使用説明書などにてご確認ください。）

- JIS A 6021の下塗りとしての適性はありません。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすめ致します。
- 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 動物はけは、はけが固まつたりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ニッペ水性透明シーラーは低VOCのため、氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5°C以上で貯蔵、保管をしてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 風化面／吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 下地にタバコのヤニ汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーIIを塗装してください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製H1500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペ1材カチオングリーフィーラー、ニッペフィーラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
14. 塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
15. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
16. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
17. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
18. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
19. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図ますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
20. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釀しないでください。
21. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釀率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
22. ベクロス、紙クロスや汚染防止のクロス（シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス）には塗装できません。塗ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
23. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用するとはじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
24. 上塗りに溶剤系塗料のご使用は避けてください。
25. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
26. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
27. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
28. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項（ニッペ水性ホワイトシーラー）

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸氣／スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
- 口をすすぐでください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 施錠して保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上（スプレー缶の場合は40°C以上）の温度にはばく露しないでください。
- 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 警 告



## 危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿 支 店 ☎06-6455-9608  
東 北 支 店 ☎022-232-6712 中 国 支 店 ☎082-281-2180  
関 東 支 店 ☎03-5479-3614 四 国 支 店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九 州 支 店 ☎092-751-9861  
中 部 支 店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
●©Copyright 2020 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.  
●日本ペイントホームページ http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.  
NP-Y026

TY200608T

2020年6月現在